100種類以上

ECHONET Lite規格は、センサー、空調、住宅設備、 調理機器、健康関連機器など多岐にわたる機器に対して、 種類ごとに特徴的な機能とその制御方法を定義していま す。現在は、117種類※の機器が規定されています。

「ECHONET Lite規格」の策定等を行っている(一社) エコーネットコンソーシアムでは、2025年までに200種 類に増やすことを目標に掲げています。

※最新の詳細規定(APPENDIX Release N)による。



▲ECHONET Lite ロゴマー

電気メーター図鑑

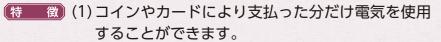


前納料金計器

前納料金計器▶

使用時期 (1975年~)

使用場所 1975年に型式承認を受けましたが、実用には至ら ず、その後も試作研究されたのみで実際に商品化さ れ、使用されるまでには至りませんでした。料金前 納式の電気メーターは、海外では利用実績がありま すが、日本では馴染まれなかったようです。



(2) 電気料金の徴収が困難な地域での使用を想定して いました。

難しい

(見つけやすさ) ★ (使用されていないため、実物を目にすること) はないでしょう。)



全国のJEMIC

見学会の お問い合せは、お近くの JEMICへどうぞ。

本 社 〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目15番7号 ☎03-3451-1181 🐼 03-3451-1364 https://www.jemic.go.jp/ E-mail soumu@jemic.go.jp



北海道支社……☎011 (668) 2437 関西支社京都事業所……☎075 (681) 1701 東北支社…… ☎022 (786) 5031 中国支社……… ☎082 (503) 1251 中部支社…… ☎0568 (53) 6331 四国支社⋯⋯⋯ ☎0877 (33) 4040 北陸支社…… ☎076 (248) 1257

電気メーターの検定・検査については JEMICのホームページをご覧ください

JEMIC

https://www.jemic.go.jp/ 2021年2月

HEMSコントローラーを 知っていますか?

「ミクちゃん」

たり、エアコンや給湯器、蓄電池等を制御したりすることができる機器です。 ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)では、HEMSコントロー ラーがエネルギーの「見える化」をしたり、家電やエネルギー設備を管理したり

HEMSコントローラーは、スマートメーターから家庭の電気使用量等を取得し

する重要な役割を持っています。主にZEH*(ゼッチ)などの住宅に利用されて いて、政府は2030年までにすべての住宅に設置することを目標にしています。

最近では、外出先から家電を制御するためのネットワークの入り口になったり、クラウドサービ スに接続したりするなど、さまざまな機能やサービスを提供できるようになっています。

次のページから、HEMSコントローラーの活用例についてもう少し詳しく見ていきましょう。

※ZEH:「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の略で、年間のエネルギー消費量がゼロまたはマイナスとなる住宅。





ホームエネルギーマネジメントシステム

HEMSの一例

●電気使用量の見える化

HEMSコントローラーのモニ ターやスマートフォン、タブレッ トなどを使って、家庭の電気使用 量をわかりやすく把握することが できます。

2エアコンや照明機器などの 自動制御

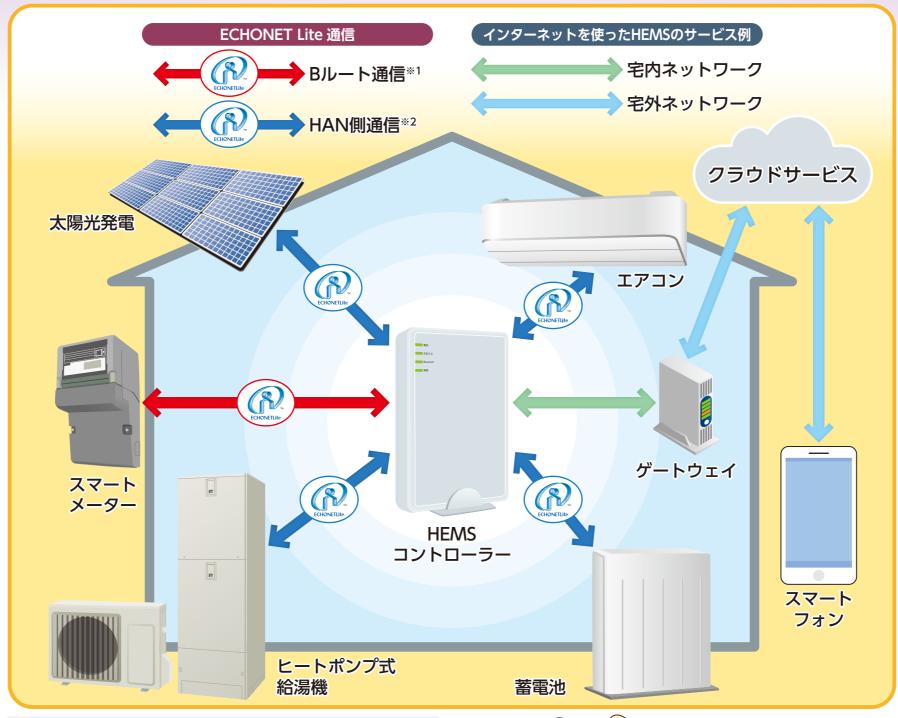
無理なく快適な省エネを実現し ます。

❸災害時に電力供給 (レジリエンス)

太陽光発雷や蓄雷池を活用して、 災害発生時に宅内に電力を供給し ます。

太陽光発電の自家消費

家庭の電気使用量を予測して、 昼間に太陽光で発電した電気を効 率よく使い、余剰分を蓄電池や電 気自動車と連携して貯めたりしま す。



外出先からの家電制御

外出先からエアコンを制御して 冷房をつけたり、お風呂を沸かし たりします。

HEMSコントローラー と接続できる機器は?

HEMSの構築にあたっては、 「ECHONET Lite(エコーネットラ イト) 規格」が標準インターフェー スとして推奨されていることから、 同規格の認証を取得している機器が 接続できます。

また、スマートメーターは、 「ECHONET Lite規格」よりも、さら に相互接続が確かな「ECHONET Lite AIF(エコーネットライトエー アイエフ)仕様」が規定されており、 同仕様はエアコンや蓄電池などの重 点8機器と呼ばれる機器などを対象 としています。

「ECHONET Lite規格」、「ECHONET Lite AIF仕様」の認証を取得するた めには、JEMICなどの(一社)エ コーネットコンソーシアムに認定さ れた認証機関で認証を受ける必要が あります。

※1 Bルート通信:スマートメーターと各家庭で利用するHEMSコントローラーとの通信 Aルート通信は、電力会社に検針値などを送るための通信

※2 HAN側通信: Home Area Network内の通信 家庭内のLANなど、既存のネットワークを利用した家電とHEMSコン

※「ECHONET」、「ECHONET Lite」、「ECHONET Lite AIF」及びエコーネットロゴマークは、一般社団法人エコーネットコンソーシアム

ECHONET Lite規格及びECHONET Lite AIF仕様について詳しくは、 https://www.jemic.go.jp/tsushin.html をご覧ください。



G&Aコーナー

「ECHONET Lite規格」で制御できる 機器は、どれぐらいあるの?

(次の選択肢から適当なものを1つ選んでください。)

❶20種類程度

250種類程度

3100種類以上

答えは次ページを ご覧ください。